

様式第2
平成29年度 十和田市指定管理者総合評価シート(市⇒指定管理者)

施設名	十和田市奥入瀬ろまんパーク	
指定管理者名	一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社	
指定期間	5年中4年目	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設概要	観光、物産等の情報及び余暇活動の場を提供し、産業活性化への誘導及び支援を行うことにより、本市の観光及び産業振興を図るため、十和田市奥入瀬ろまんパークを設置したものである。	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市奥入瀬ろまんパークの運営に関する業務 ・十和田市奥入瀬ろまんパークの管理に関すること ・その他の業務(事業計画書及び収支予算書や事業報告書等の提出) 	
指定管理に要する総事業費	29,299 千円	
指定管理に要する総人件費	8,462 千円	
指定管理に要する就業する全職員数	常勤職員 3 人、非常勤職員 3 人	

施設所管課	観光推進課
-------	-------

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由	
管理運営状況	開館時間、休館日の状況	施設によるサービスが協定等に基づき適切に提供されている。	B	施設によるサービスが適切に提供されている。
		協定等で定められた利用時間が遵守されている。	B	業務基準書で定められた利用時間が遵守されている。
		協定等で定められた利用日が遵守されている。	B	業務基準書で定められた利用日が遵守されている。
		協定等で定められた利用期間が遵守されている。	B	業務基準書で定められた利用時間が遵守されている。
	使用許可及び減免の状況	手続きが円滑に行われている。(手続きに要する書類が整備されているか)	B	条例及び規則に基づき手続きが円滑に行われている。
		処理が適正に行われている。(事務処理に時間を要していないか)	B	事務処理は適切に行われている。
		適正な判断基準により減免されている。(減免すべきものを徴収、又は減免すべきでないものを減免していないか)	B	条例及び規則に基づき適正に減免されている。
		施設サービスの提供のため、必要な人員数が確保されている。	B	業務基準書に定められた適切な人員が配置されている。
	適正な人員配置	法令等に定められている人員配置基準を満たしている。	B	法令を遵守し配置されている。
		人員配置が過剰、過少ではない。(直営時又は類似施設と比較)	B	必要人員が適切に配置されている。
		必要な資格、経験を有する人員が適切に配置されている。	B	業務基準書に定められた有資格者、経験者が適切に配置されている。
		技能、技術等を維持向上するための研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	必要な研修を適切に実施している。
法令の遵守	関係法令を遵守していると認められる。	B	関係法令を遵守していると認められる。	
(管理運営状況)	維持管理業務(清掃、警備など)	利用者が快適に利用できるよう、また、施設の安全な管理設備機器等について協定等に基づき、定期的に安全確認を行っている。	B	業務基準書に基づき必要な保守点検を定期的に行っている。
		清掃について、清潔を保つために必要な回数が適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき清掃作業が適切に実施されている。
		利用者の安全を保つために必要な措置(立入禁止区域の指定及び危険箇所の注意喚起等)が適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき安全措置が適切に実施されている。
		協定に基づき、指定管理者が行うものとされる修繕について、適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき必要に応じて適切に実施されている。
	修繕内容について、市に報告が行われている。	B	業務基準書に基づき適切に報告が行われている。	
	法定点検が確実に実施されている。	B	業務基準書に基づき適切に法定点検が行われている。	
	文書の管理保存	施設の管理記録が整備されている。	B	業務基準書に基づき適切に整備されている。
		管理記録(施設の利用状況及び定期点検の実施状況等の記録)について定期的に市に報告が行われている。	B	業務基準書に基づき定期的かつ速やかに報告されている。
報告書等の提出	事業計画、月例報告、事業報告その他報告等の提出や内容が適切である。	B	業務基準書に基づき適切に報告が行われている。	
管理終了後における引継ぎ	業務の引継ぎや設備等の原状回復を適切に行った。	—	該当なし	
備品の管理	備品台帳を基に適切な管理が行われている。	B	過不足がないよう適切な補充管理が行われている。また老朽化等で使用できない備品も適切な手続きをとり廃棄している。	
	利用者への設備・備品の貸出について、問題が生じていない。	B	特に問題は生じていない。	
	提供・貸出について、利用者からの苦情が少ない。	B	苦情は少ない。	
運営状況	施設利用状況	近年又は市の直営時と比較して、利用実績が妥当である。	C	前年度比98%、▲9,271人の利用者減となった。
	サービスの向上に向けた取組	市民のニーズを踏まえて、施設サービス・事業等の見直しを市とともに的確に行っている。	B	市民ニーズの把握に努めるとともに常に市と連携を取り、協議しながら的確に行われている。
		費用対効果の観点から、施設サービス・事業等の実施方法等を見直し、より効率的・効果的な実施に努めている。	B	費用対効果の観点からより効率的なサービス、事業の実施に努めているが、施設に係るホームページや広報用パンフレットの制作・充実など、迅速で効果的な運用に努められたい。
		職員の待遇(言葉遣い、態度、服装等)が適切である。	B	職員の待遇は適切である。
		待遇について、研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	職員研修を定期的に行っている。
	直営時と比較して、苦情が少ない。	B	直営時に比べ減少している。	
	自主事業	自主事業が積極的に開催され、施設の利用促進に大きな効果があった。	A	定期的な独自の企画のイベントを実施し、誘客効果をあげている。
自主事業が、施設の目的に沿って、市民等へのサービスの向上に貢献している。		A	独自の企画のイベントを実施し、サービス向上に貢献している。	
指定管理料の執行状況	市と協定した予算の範囲内で、適正かつ効率的に予算を執行している。	C	収支差額がマイナスとなっており、効率的に執行されたといえない。	
利用料金(使用料)の取扱い	利用料金制の適正な運用が行われている。(料金設定について協議を経ている。)	B	適正な運用に努めている。	
	利用料金収入のコストカバー率(利用料金収入/支出)について、直営時又は前年度実績と比較して、大きな変化がなく安定している。	B	前年度実績と比較して大きな変化はない。	
	徴収した使用料が適正に管理され、市に納められている。 ※使用料の徴収委託している施設に限る。	—	該当なし。	

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
指定管理料	経費節減状況	B	光熱水費の節減及び消灯に努め、経費を縮減する努力をしている。
		B	適切な水準を保ちながら、委託業者との契約内容を精査し、経費が最小限となるよう工夫、努力している。
		B	運営は比較的安定した状態で行われている。
		B	前年と比較し、委託費の削減や自社での対応により経費削減が行われている。
	収入の増加	B	独自のイベントを実施するなど、誘客に努めている。
		B	独自のイベント等を実施し、収入増に努めている。
経理区分	B	適切に区分されている。	
危機管理対策	事故防止対策	B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		B	管理運営組織図等が適切に整備されている。
		B	管理運営組織図等が適切に整備されている。
		C	管理運営組織図等が適切に整備されているが、訓練が行われていない。
		B	迅速に対応し、適切に報告されている。
その他	保険の加入状況	B	業務基準書に基づき適切に保険に加入している。
	守秘義務	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	個人情報保護	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
		B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	情報公開	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	連絡調整等	B	関係団体等との調整について常に市と連携を取り、協議しながら適切に行われている。

【 指定管理者から市に対する要望・提言等 】 ※指定管理者から提出された自己評価シートに記載された事項をそのまま転記する。

施設設備の対応年数が経過し、修繕箇所が多くなっています。高額な修繕は、市に依頼しておりますが、今後も定期的な情報交換の場を持ちたい。また、収支の赤字も続いており、指定管理料の見直しが必要と考える。

【 講 評 】 ※評価の結果について、総合的な評価内容を文章により記入する(指定管理者からの要望・提言等も含め)。

施設も多数地も広い当施設において、維持管理が適切に行われていることは評価できる。
 施設の利用促進については、道の駅としての道路利用者に対する物産のPRや休憩サービスの提供も安定して行われている。
 特に、「奥入瀬ろまんパークフェスティバル」や「十和田湖ふるさとまつり」などのイベントを継続的・定期的実施するなど、利用促進に努めていることは評価できる。
 今後は、より広く施設の広報周知が図られるよう、ホームページの更新や紹介パンフレットの充実など、更なる工夫を期待したい。
 指導事項としては、昨年引き続き避難訓練について法令に基づき実施するよう要請する。
 総合的に良好な管理運営を行っていることと評価できるため、指定管理経費の更なる削減による収支差額の改善を期待したい。